

サトイモ疫病を防除するには！

～効果的な薬剤散布～ 農林水産研究所

サトイモ疫病の登録農薬

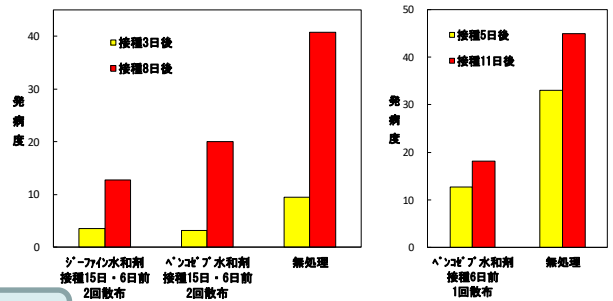
R6. 9月現在

農薬名(希釈倍数)	使用時期	使用回数	期待できる効果
ジーファイン水和剤(1000倍)	収穫前日まで	—	予防効果
ペンコゼブ水和剤(500倍)	収穫7日前まで	2回以内	予防効果
ジマンダイセン水和剤(500倍)			
ランマンフロアブル(2000倍)	収穫前日まで	2回以内	予防効果
アミスター20フロアブル(2000倍)	収穫14日前まで	3回以内	予防とある程度の治療効果
ダイナモ顆粒水和剤(2000倍)	収穫21日前まで	3回以内	予防と治療効果
ピシロックフロアブル(1000倍)	収穫前日まで	3回以内	予防と治療効果
カンパネラ水和剤(1000倍)	収穫7日前まで	2回以内	予防と治療効果
ベネセット水和剤(1000倍)			

※ダイナモ顆粒水和剤は希釈倍数20倍と40倍で、アミスター20フロアブルは希釈倍数18倍で、カンパネラ水和剤及びベネセット水和剤は希釈倍数16倍で「無人航空機」での適用があります。

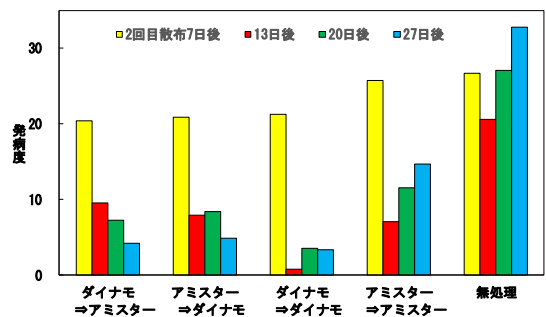
① 予防剤の散布は発病抑制効果が高い！

ジーファイン水和剤など予防剤の接種前散布区は、無処理区に比べて、発病度が明らかに低い
 →疫病の発生前に予防剤を散布することは、初発後も発病進展を抑制する効果が高い！



② 多発時には治療剤を連続散布！【緊急避難】

接種・発病後、ダイナモ顆粒水和剤など治療剤の7日間隔2回散布区は、無処理区に比べて、発病度が明らかに低い
 →特に多発時、治療剤の連続散布は発病抑止効果が高い
 ※多発時以外は耐性菌対策のため、同一薬剤の連続散布は避ける！！



③ 治療剤散布後に病斑の治癒をチェック！



＜薬剤散布前の病斑＞
 病斑の輪郭がぼやけている
 白色部分は遊走子の塊



＜治癒した病斑＞
 病斑の輪郭が明確に見える
 遊走子のうが消えている



＜治癒していない病斑＞
 病斑の一部がぼやけている
 (○印部分)

※治療効果を有する薬剤を散布した後は、病斑が治癒されているか否かをチェックし、追加散布の必要性を判断する！！